

## 企画総務委員会記録

1 日 時 令和2年3月19日(木)  
午前11時42分 開会  
午後 0時 7分 閉会

2 場 所 第1委員会室

3 出席委員 委員長 永 易 英 寿 副委員長 越 智 克 範  
委員 井 谷 幸 恵 委員 篠 原 茂  
委員 藤 原 雅 彦 委員 伊 藤 優 子  
委員 山 本 健十郎

4 欠席委員 な し

5 説明のため出席した者

・副市長 寺 田 政 則  
・企画部

部長	鴻 上 浩 宣	総括次長(地方創生推進 監・地方創生推進課長)	佐 薙 博 幸
次長(総合政策課長)	河 端 晋 治	財政課長	木 俵 浩 毅

6 委員外議員 な し

7 議会事務局職員出席者

主任 村上 佳史

8 本日の会議に付した事件

別紙付託案件表のとおり

9 会議の概要

○ 開 会 午前11時42分

●永易委員長：開会挨拶

○寺田副市長：挨拶

◎予算議案(企画部その他関係者)

◇議案第31号 令和元年度新居浜市一般会計補正予算（第6号）

○木俵財政課長：説明

< 質 疑 >

●篠原委員：林業振興費県補助金については、合板、製材、集成材の国際競争力の強化ということであるが、どこに対するものか。

○木俵財政課長：三王ハウジング株式会社である。

●篠原委員：これは以前にもあったのか。

○木俵財政課長：この内容については、今回が初めてである。

●井谷委員：個人番号カード交付事務費補助金についてももう少し詳しく説明してほしい。

○木俵財政課長：マイナンバーカードの交付に関する部分になるが、マイナンバーカード自体を発行する地方公共団体システム機構、いわゆるJ-LISに対して、市が経費を負担しており、それに対する国の補助である。

●山本委員：輸出促進対策交付金について、事業の中身をわかる範囲で説明してほしい。

○木俵財政課長：木材加工流通施設整備事業として三王ハウジング株式会社がCLT大型パネルを加工するための設備等を新たに導入することに対する補助であるが、合板、製材、集成材の国際競争力強化として、集成材の加工施設の大規模化や高効率化を目指すために取り組む林業機械の導入支援である。

●山本委員：大型機械を導入するということか。

○木俵財政課長：加工施設、加工設備を導入すると聞いている。

●山本委員：本体の金額はわかるのか。

○木俵財政課長：全体の事業費は約6億円で、そのうちの2億6,500万円が補助金と聞いている。

●篠原委員：西条市にあるスナダヤは約50億円を投資して、同じような事業をやっているが、約6億円で国際競争力がつくのか。

○木俵財政課長：CLTパネルそのものを作る工場ではなく、作られたものを持ってきて加工するということであるので、西条の施設とは種類が違う。

●篠原委員：極端に言えばスナダヤで加工したものを三王ハウジングに持ってきて、集積材を作るという二次加工みたいなことなのか。

○木俵財政課長：そのようなイメージである。

●篠原委員：スナダヤに見学に行ったことがあるが、6億円や10億円とかでやっても生き残りが難しいと思う。隙間産業ではないがスナダヤでやれないところを三王ハウジングですていくのであればいいが、そのようなところを市からも指導していただくようお願いする。

●伊藤委員：生涯活躍のまち拠点施設整備事業とは主にどのような事業か。

○佐藤企画部総括次長（地方創生推進監・地方創生推進課長）：旧若宮小学校跡地を改修する工事費や備品購入費等である。

●伊藤委員：旧若宮小学校はどのように変わると考えているのか。

○佐藤企画部総括次長（地方創生推進監・地方創生推進課長）：旧若宮小学校は生涯活躍のまち

拠点施設という形で、1階が子育ての感性を育むゾーン、2階、3階がビジネスや学びを行える施設だったり、多世代の方々が施設を利用し、交流していくことによって、にぎわいをもたらす、またビジネスチャンスも広がるような施設となるように改修したいと考えている。

●山本委員：生涯活躍のまち拠点施設事業整備事業について、国の補助での整備はこれで終了になるのか。

○佐藤企画部総括次長（地方創生推進監・地方創生推進課長）：これで改修等は終了になる。

●山本委員：関連する高齢者生きがい創造学園のことになるが、前教育長が若宮小学校に移すという話の中で、生涯活躍のまちの拠点施設に生きがい創造学園がどれくらい入れると考えているのか。

○佐藤企画部総括次長（地方創生推進監・地方創生推進課長）：高齢者生きがい創造学園のものはほとんど入ってこないと考えている。

●山本委員：生きがい創造学園で行っている内容について、利用できる場所は全然ないのか。

○佐藤企画部総括次長（地方創生推進監・地方創生推進課長）：講座等については利用できる場所はある。しかし、占有するようなサークル活動については、使う場所はない。

●山本委員：前教育長は地元にも若宮に持っていく話をして、地元として問題はないのかというところまで聞いたわけであり、その辺は庁内で調整をしないでやっていることと思うが、それについてはどう思うのか。

○佐藤企画部総括次長（地方創生推進監・地方創生推進課長）：庁内の会でも現状等の話をして、高齢者生きがい創造学園の全部移転が不可能であることの庁内的な認識はあったと思う。高齢者生きがい創造学園に対しては、現状での考えについての説明を何度かしている。

●山本委員：一角でも入れるような考えはその当時になかったのか。

○佐藤企画部総括次長（地方創生推進監・地方創生推進課長）：当初は、サークルではなく、あくまでも講座的なものとして使えるような部屋を一部分でもと検討したが、最終的に各部屋割りする際に3階をレンタルオフィスにするということで貸し館的な部屋が非常に少なくなったこともあり、創造学園の講座を全部引き受けることができなくなったのが現状である。

●篠原委員：小中学校ICT環境整備事業債とは何か。

○木俣財政課長：ICT環境整備ということで、小学校5・6年生と中学校1年生の3分の2にあたるタブレット端末を導入するが、通信環境の整備をしないと使えないので、そのための整備事業に係る市債である。

●越智副委員長：補正予算の説明資料の中にタブレットの関係も書いているが、3クラスに1クラス分という話と小学校5年生から中学校1年生までの全員にとという話で、今年度の補正予算では、小学校5年生から中学校1年生にタブレットを1台充てることが、予算の追加項目のように見えるのだが、先ほどの説明とは違うのか。

○木俣財政課長：当初予算に計上しているICT環境整備に関しては、全学年の3クラスに1クラス、つまり3分の1分を導入する。今回の追加補正では、国の補助のルールに従って、小学校5年生から中学校1年生までの残りの3分の2の部分を整備するというので、実際のスタートは4月以降になると思うが、令和2年度中には小学校5年生から中学校1年生までの子どもに関

しては、全員分のタブレット端末が入るという考え方である。

●越智副委員長：通信環境の整備だけに充てるというわけではないのか。

○木俣財政課長：先ほどの篠原委員の質問は、市債、いわゆる起債に関しての質問であり、起債については、ネットワーク環境の整備ということでいわゆる建設事業分に充てるもので、それ以外にも、同じ教育の分野にはなるが、ICT環境整備推進事業費というタブレット端末を導入する経費も別の歳出予算として計上している。

●篠原委員：社会資本整備事業の起債の減額によってどのような影響があるのか。

○木俣財政課長：社会資本整備の起債については、建設事業ということで環境建設委員会で議論されていると思うが、今回の補正では当初見込んでいた額よりも最終的な国の補助内示額が少なかったことから、その分を減額したものである。それにより事業費自体が縮小してしまうため、当初の想定より若干出来高が減ってしまう影響はあると思う。

●篠原委員：具体的にはどこの事業が減るのか。

○木俣財政課長：今回の歳出補正の減額としては、上部東西線改良事業が合計で2億円ほど減額になっている。12ページにある市債の2目土木債の4節公共事業等債の右側のところで減額になっているのが市債の減額分である。

< 討 論 > な し

< 採 決 > 全会一致 原案可決

○ 閉 会 午後0時07分 閉会

# 企画総務委員会付託案件表

令和2年3月19日

## ○ 予算議案 (企画部その他関係者)

議案第31号 令和元年度新居浜市一般会計補正予算 (第6号)

第1表	歳入歳出予算補正中	ページ
歳入	全部 . . . . .	2・10~13
歳出	第2款 総務費	
	第1項 総務管理費 . . . . .	3・14
第2表	繰越明許費補正 追加	
	第2款 総務費 . . . . .	4
第4表	地方債補正 追加 . . . . .	6
第5表	地方債補正 変更 . . . . .	7